

令和6年度 シラバス

教科名	国語	科目名	論理国語	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	論理国語 大修館		
科目目標	文章を的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
履修上の注意点	授業：論理的な文章を読解することで実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、国語に関する知識・技能の定着を目指す。また、自己の考えたことを作文等に表現することで論理的に思考・判断し表現する力の発達を目指す。 提出物・討議等：主体的に学びに向かう態度の育成を目指す。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	小テスト			○	
	課題・ノート提出			○	
	課題考査	○	○		
	各観点の割合	30%	40%	30%	

指導と評価の計画

学 期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	【第Ⅱ部】 1 自己と他 者 2 コミュニ ケーション の手段 3 メディア の変容 4 言語の 探究	人はなぜ贈与するの か 記号論的メディアと 物理的メディア ポスト真実時代のジ ャーナリズムの役割 猫は後悔するか	26 (6) (7) (6) (7)	筆者の主張を理解し、自分の考えを深める。 ・人と人のつながりについて理解し、社会における自分の存在についての考えをもつ。 ・「書き言葉」「話し言葉」等と「手話」「ジェスチャー」等の違いについて考えを深める。 ・メディアが伝えることについて、批判的に考えることを通して、情報の正しい受け取り方について考えを深める。 ・言葉と世界の認識の関係について理解し、言葉の持つ意義について考えを深める。	知：定期考査 課題考査 思：定期考査 課題考査 主：提出物 小テスト
2	【第Ⅱ部】 5 政治と社 会 6 環境への まなざし	政治を支える心構え 「である」と「 する」こと 生物多様性の恩恵人 地球システムの中の 人間	32 (7) (9) (7) (9)	論理の展開を読み取り、自分の考えを表現する。 ・自分が市民として政治に参加することの意義を考え、社会人としての姿を表現する。 ・人間の立場とそれを支える行動の関係について理解し、自分を含めた人間があるべき姿について考え、表現する。 ・環境破壊が招く生物の多様性の喪失は、人間が学ぶべきことも喪失させる危険性について考え、表現する。 ・生態系の保全という考え方についての筆者の主張を理解し、自身のものの見方を広げ、表現する。	知：定期考査 思：定期考査 主：提出物 小テスト
3	読む 話す 聞く 書く	ビブリオバトル 小論文	12 (8) (4)	自分を見つめ、考え、発信する。 ・自身で読んだ本の内容を効果的に伝える技能を習得する。 ・題材の文章について、自分の意見を書く。	知：定期考査 思：定期考査 主：ビブリオバ トル 小論文

令和6年度 シラバス

教科名	国語	科目名	古典探究	履修学年	第3学年 (文型)
単位数	3単位	使用教材	精選古典探究 古文編・漢文編 東京書籍		
科目目標	「知識及び技能」 ・生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、伝統的な言語文化に対する理解を深める。 「思考力、判断力、表現力等」 ・論理的に考える力や、共感・想像力を伸ばし、古典を通して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力を育てる。 「学びにむかう力、人間性」 ・古典について関心を深め、作品や文章を自分自身の経験に結び付け、考えを深める。				
履修上の注意点	・タブレット（充電完了）の持参 ・LOOK@古文単語337の持参 ・『やさしくくわしい古典文法』の持参				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	提出課題			○	
	小テスト			○	
	課題考査	○	○		
	各観点の割合	30%	40%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	日記 2 (古文) 評論 (古文) 作り物語 2 (古文) 評論 (古文) 白楽天と日本文学 (漢文)	『紫式部日記』 日本紀の御局 『無明草子』 紫式部 『源氏物語』(二) 夜深き鶏の声 【若菜上】 『源氏物語玉の小櫛』 もののあはれの論 白楽天 『長恨歌』	41 (21)	- 日記の記述を通じて、作者の考え方や感じ方を学ぶ。 - 女流作家(紫式部)について学ぶ。 - 文章の内容を的確に理解し、登場人物の心情や行動を確認する。 - 敬語の理解を深めるとともに、主要な登場人物の人間関係について理解する。 『源氏物語』を通して、文法、敬語、先人のものの見方や考え方、生活環境などを学ぶ。 『源氏物語』桐壺巻に強い影響を与えた作品を比較し、共通点や相違点を読み取り、作品を味わう。 - 詩の社会性、文学性を解する。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	歴史物語 1 (古文)	『大鏡』 雲林院の菩提講 道真の左遷 花山天皇の出家 三船の才 肝試し 道長、伊周の競射	(10)	- 歴史物語の視点を理解する。 - 歴史上の人物について、その描写を通じて背景、魅力ある人物像を読み取る。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	史記 2 (漢文)	荊軻伝	(10)	- 漢文の文章の構成や句法、表現の特色などを学び、ものの見方や感じ方、作者の考え方を理解する。 『史記』を読み、歴史上の人物の行動や心情について考え、人間のあり方について理解する。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
2	作り物語 3 (古文)	『落窪物語』 姫君の苦難 『とりかへばや物語』	52 (16)	- 作り物語の世界を味わう。 - 登場人物の心理を読み取る。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	史記 1 (漢文)	項羽 鴻門之会 四面楚歌	(12)	- 漢文の文章の構成や句法、表現の特色などを学び、ものの見方や感じ方、作者の考え方を理解する。 『史記』を読み、歴史上の人物の行動や心情について考え、人間のあり方について理解する。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	小説 2 (漢文)	小説 桃花源記	(8)	- 文章の内容を的確に理解し、登場人物の心情や行動を確認する。 「桃源郷」の意味を知り、作品の成立理由を中国の歴史に触れながら、文学としてどう影響しているか理解する。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
	文2 (漢文)	逃走八大家の文章 捕蛇者説	(8)	文章の内容を的確に理解し、登場人物の心情や行動を確認する。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	俳諧 (古文)	芭蕉・蕪村　ほか	(8)	俳諧の作法、その世界を解するとともに、芭蕉の意図した世界を読み取る。また蕪村の世界を味わう。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
3	近世小説2 (古文)	『雨月物語』	12 (8)	近世の物語が現代の物語に大変近いことを理解するとともに近世文学を味わう。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題
	詩3 (漢文)	李白と杜甫 『月夜』 『登岳陽楼』	(4)	- 日本文学に強い影響を与えた唐詩、その代表詩人の詩を通じて、唐の文化を知る。 - 詩の決まりを習熟する。 - 詩の社会性、文学性を解する。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 提出課題

令和6年度 シラバス

教科名	国語	科目名	文学国語	履修学年	第3学年 (文Ⅰ・文Ⅱ・子どもみらい)
単位数	2	使用教材	教科書『文学国語』数研出版 副読本『新訂国語図説 六訂版』京都書房		
科目目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 (2) 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				
履修上の注意点	○提出物は期日を守って、必ず提出するようにすること。 ○必要に応じて予習をしたり、発展課題・言語活動に取り組んだりするなどして、受身にならず積極的に学習してほしい。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	課題考查	○	○		
	定期考查	○	○		
	小テスト	○			
	提出課題			○	
	各観点の割合	30%	40%	30%	

指導と評価の計画

学 期	単元	指導項目	時 間 数	指導内容	評価項目
1	平成の 小説	梶井基次郎「檸檬」 村上春樹「クリーム」	8 6	○内容や構成、場面の設定の仕方、表現上の特色をとらえ、主題への考察を深める。	〈知識・技能〉 定期考査 小テスト 課題考査 〈思考・判断・表現〉 課題考査 定期考査 〈主体的に学習に取り組む態度〉 提出課題
	昭 和 中 期の 小説	太宰治「水仙」 大岡昇平「野火」	6 10	○主人公の生き方や心情を整理し、題名がもつ象徴性について考察する。 ○語り手の視点や人物像をとらえるとともに、時代背景をふまえて人間、社会に対するものの見方、考え方を深める。	
2	大正の 小説	夏目漱石「こころ」	10	○内容や構成、場面の設定の仕方、主人公の心情などをとらえるとともに、時代背景や関連資料もふまえて、作品の解釈を深めていく。	〈知識・技能〉 定期考査 小テスト (課題考査) 〈思考・判断・表現〉 課題考査 定期考査 〈主体的に学習に取り組む態度〉 提出課題
		内田百閒「件」	6	○内容や構成、場面の設定の仕方、主人公の心情などをとらえるとともに、時代背景や関連資料もふまえて、作品の解釈を深めていく。	
	明 治 の 小説	森鷗外「舞姫」	10	○主人公の生き方や心情を整理し、題名がもつ象徴性について考察する。	
3	海 外 の 小説	フ란ツ・カフカ「掟の門前」	6	○主人公の生き方や心情を整理し、題名がもつ象徴性について考察する。	〈知識・技能〉 定期考査 小テスト 課題考査 〈思考・判断・表現〉 定期考査 〈主体的に学習に取り組む態度〉 提出課題
		魯迅「藤野先生」	4	○内容や構成、場面の設定の仕方、主人公の心情などをとらえるとともに、時代背景や関連資料もふまえて、作品の解釈を深めていく。	
	戯曲	菊池寛「父帰る」	4	○内容や構成、場面の設定の仕方、主人公の心情などをとらえるとともに、時代背景や関連資料もふまえて、作品の解釈を深めていく。	

令和6年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	世界史探究	履修学年	第3学年 (2年次より継続履修)
単位数	3単位	使用教材	教科書 山川出版社「世界史探究」 副教材 帝国書院「最新世界史図説タペストリー」		
科目目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
履修上の注意点	①学習の基本は授業である。主体的に取り組むこと。 ②授業に必要な教科書・資料集・ノート類を忘れず持参すること。 ③復習やノート・課題等の提出を怠らないこと。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査・課題考査	○	○	○(春季課題考査)	
	単元小テスト			○	
	課題(考査対策他)		○	○	
	授業プリント類		○	○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目
一学期	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編	第9章 大交易・大交流の時代 1 アジア交易世界の興隆	3	①蒙古帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。 ②明朝初期の国内統治の特徴を考察し表現する。 ③明との朝貢が諸地域にもたらした影響を考察し表現する。 ④世界的商業発展が明の朝貢に及ぼした影響を理解する。 ⑤明代後期の中国の社会・経済・文化と世界の商業の活発化との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥東南アジアで台頭した勢力の共通点を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他) 主：単元小テスト 授業プリント類 課題(考査対策他)
		2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容	4	①欧州が遠洋に乗り出した動機や背景を考察し表現する。 ②欧州の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。 ③中南米が短期間でスペインに征服された要因を理解する。 ④16世紀に一体化が始まった「世界」の性格を多面的・多角的に考察し表現する。	
		第10章 アジアの諸帝国の繁栄 1 オスマン帝国とサファヴィー朝	3	①オスマン帝国の基礎・拡大の経緯を理解する。 ②オスマン帝国の統治が与えた影響を考察し表現する。 ③サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他)
		2 ムガル帝国の興隆	2	①ムガル帝国の基礎から衰退への経緯を理解する。 ②ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係を多面的・多角的に考察し表現する。	主：単元小テスト 授業プリント類 課題(考査対策他)
		3 清代の中国と隣接諸地域	4	①清代における周辺諸国と中国との関係について、明代と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ②漢人の社会や文化に対して清朝がどのような態度をとったのかを理解する。	
		第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 1 ルネサンス	3	①ルネサンスを支えた精神の特徴を理解し、それが後世に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ルネサンスの成果が後世に与えた影響を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他)
		2 宗教改革	3	①それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ②カルヴァンの教えの特徴やイギリス国教会の成立の意義を理解する。 ③カトリック改革が持つ世界史的な意義を考察し表現する。	主：単元小テスト 授業プリント類 課題(考査対策他)
		3 主権国家体制の成立	4	①主権国家体制の成立の経緯を考察し表現する。 ②16世紀後半のスペイン・イギリス・フランスの関係を理解する。 ③アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。	
		4 オランダ・イギリス・フランスの台頭	3	①17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を考察し表現する。 ②17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。 ③近世フランスの強みと課題を考察し表現する。 ④英仏覇権争いがグローバルな戦いとなる背景を理解する。	
		5 北欧・東欧の動向	3	①主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解する。 ②ロシアが主権国家体制に参入した経緯を理解する。 ③プロイセン・オーストリアの関係の推移を考察し表現する。 ④啓蒙専制主義の特徴を理解する。	
		6 科学革命と啓蒙思想	2	①科学革命の成果・影響を考察し表現する。 ③「実用の学」としての啓蒙思想の意義を理解する。	
	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	第12章 産業革命と環大西洋革命 1 産業革命	3	①海外貿易が近世欧州経済の動向に与えた影響を理解する。 ②イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ③16世紀に始まった「世界の一体化」とイギリス産業革命との関係について理解する。”	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他)
		2 アメリカ合衆国の独立と発展	3	①北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。 ②独立直後と今日のアメリカ合衆国を比較し、共通点と相違点を理解する。 ③アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	主：単元小テスト 授業プリント類 課題(考査対策他)
		3 フランス革命とナポレオンの支配	4	①革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 ②人権宣言とアメリカ独立宣言を比較し、共通点と相違点を	

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目
	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	4 中南米諸国の独立	2	理解する。 ③ナポレオンの支配に対する人々の反応を多面的・多角的に考察し表現する。 ①ハイチ革命の特殊性について、環大西洋革命の他の事例と比較したうえで理解する。 ②中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。 ③中南米諸国の独立運動とヨーロッパ情勢との関係を多面的・多角的に考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他) 主：単元小テスト 授業プリント類 課題(考査対策他)
		第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成” 1 ウィーン体制と欧州の政治・社会の変動	3	①ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ②ウィーン体制を動揺させた要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ③19世紀イギリスの政治変革の特徴について、大陸諸国と比較したうえで理解する。 ④イギリス・フランス・ドイツにおける社会主義思想をそれぞれ比較したうえで理解する。 ⑤1848年革命の展開と影響について、ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。	
		2 列強体制の動揺と欧州の再編成	4	①クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解する。 ②19世紀後半におけるロシア・イギリス・フランスの諸改革の相違点を理解する。 ③ドイツとイタリアの国民国家成立を比較し、共通点と相違点を理解する。 ④ドイツ帝国におけるビスマルクの諸政策の動機を多面的・多角的に考察し表現している。 ⑤北欧諸国の安定性について、周辺諸国と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 ⑥19世紀後半に様々な国際運動が進展した背景を理解する。	
		3 アメリカ合衆国の発展	3	①領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。 ③アメリカ合衆国の歴史において移民が持つ意味を多面的・多角的に考察し表現する。”	
	第Ⅲ部 諸地域の結合・変容	4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄	2	①19世紀欧米文化における担い手や展開された場（空間）の推移を理解する。 ②国民文化と国民国家形成との関係を多面的・多角的に考察し表現する。 ③近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。 ④大都市文化が都市の景観に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他) 主：単元小テスト 授業プリント類 課題(考査対策他)
		第14章 アジア諸地域の動揺 1 西アジア地域の変容	2	①オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②オスマン帝国の列強への経済的な従属化経緯を理解する。 ③オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。 ④ロシアとイギリスの競合関係が西アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	
		2 南アジア・東南アジアの植民地化	2	①ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解する。 ②イギリス東インド会社の機能の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ③東インド会社の統治と比較したうえで、イギリスによるインドの直接統治の特徴を理解する。 ④東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 ⑤タイが植民地化されなかった要因を多面的・多角的に考察し表現する。	
		3 東アジアの激動	3	①清朝の危機の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ②中国の開港の背景および開港の進展の経緯を理解する。 ③清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。 ④東アジア各地の開港および貿易の拡大がもたらした影響を理解する。 ⑤欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。	

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目
		第15章 帝国主義とアジアの民族運動 1 第2次産業革命と帝国主義	2	①新しい科学技術が日常生活に与えた影響を理解する。 ②帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ③各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ④国際労働運動が再燃した背景と特徴を考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他)
		2 列強の世界分割と列強体制の二分化	2	①列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を考察し表現する。 ②列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ③独立後の中南米諸国が歩んだ共通点と相違点を理解する。 ④20世紀初頭、列強の枠組みの変化を考察し表現する。	主：単元小テスト 授業プリント類 課題(考査対策他)
		3 アジア諸国の変革と民族運動	3	①日清・日露戦争が中国及び東アジアに与えた影響を考察し表現する。 ②清朝が倒れた原因を理解する。 ③インド民族運動の社会的背景を考察し表現する。 ④東南・西アジア各地の民族運動に共通する傾向を理解する。	
		第16章 第一次世界大戦と世界の変容 1 第一次世界大戦とロシア革命	3	①バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ②史上初の世界大戦が勃発した原因を考察し表現する。 ③戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ④第一次世界大戦がもたらした影響を考察し表現する。 ⑤ロシア革命の経緯と歴史的意義を考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他)
		2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国	3	①第一次世界大戦後の新国際秩序構築の経緯を理解する。 ②西欧における第一次世界大戦後の展開を考察し表現する。 ③国際協調を巡る1920年代の前半と後半の変化を理解する。 ④イタリア・ファシズム成立の背景を考察し表現する。 ⑤東欧・バルカン半島の新興国が直面した困難と、それに対応すべく築かれた体制を理解する。 ⑥1920年代のソ連とアメリカの国内情勢を理解する。	主：単元小テスト 授業プリント類 課題(考査対策他)
		3 アジア・アフリカ地域の民族運動	3	①第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を考察し表現する。 ②日本の拡大に対する中国・朝鮮の対応を考察し表現する。 ③南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。 ④第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。 ⑤第一次世界大戦による西アジアの政治変化を理解する。	
		第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊	3	①世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ②ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。 ③ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。 ④ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解する。 ⑤日本と中国が全面戦争へいたった背景を考察し表現する。 ⑥ファシズム諸国が国際政治に与えた影響を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他)
		2 第二次世界大戦	3	①開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を考察し表現する。 ②ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ③独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を考察し表現する。 ④第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。 ⑤第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を考察し表現する。	主：単元小テスト 授業プリント類 課題(考査対策他)
		3 新しい国際秩序の形成	2	①戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ②冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展経緯について理解する。 ③国民党が共産党に敗れた原因を考察し表現する。 ④朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響を理解する。 ⑤東南アジア及び南アジアの独立の背景や経緯を理解する。 ⑥現代の中東問題の要因を考察し表現する。	
		第18章 冷戦と第三世界の台頭 1 冷戦の展開	3	①米ソの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ②冷戦進展がアメリカ社会に与えた影響を考察し表現する。 ③西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。 ④スターリン死後のソ連と東欧における変化を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 授業プリント類 課題(考査対策他)

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目
	第Ⅳ部 地球世界の課題	2 第三世界の台頭とキューバ危機 3 冷戦体制の動揺	2 2	①自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 ②アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。 ③キューバ革命の背景および影響を考察し表現する。 ④国際社会が核兵器の制限に取り組んだ経緯を理解する。 ①国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。 ②1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を考察し表現する。 ③ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。 ④ソ連のスターリン批判が中国へ与えた影響を理解する。 ⑤第三世界における開発独裁の特徴を考察し表現する。	主：単元小テスト 授業プリント類 課題(査査対策他)
三学期		第19章 冷戦の終結と今日の世界 1 産業構造の変容 2 冷戦の終結 3 今日の世界 4 現代文明の諸相	3 3 2 1	①経済成長に伴う先進国の政策・社会の変化を理解する。 ②1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。 ③オイル＝ショックが各国の社会と経済に与えた影響を考察し表現する。 ④1960～1970年代の中東における変容の経緯を理解する。 ⑤1970～80年代の開発途上国の工業化の経緯を理解する。 ①1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。 ②ソ連の改革と東欧革命との関係を考察し表現する。 ③東西対立の緩和が東アジアやアフリカなど諸地域にもたらした影響を理解する。 ④ゴルバチョフの改革が挫折した原因を考察し表現する。 ①旧社会主義国で起こった民族運動・対立の特徴を理解する。 ②冷戦終結後の東アジア諸国の変化を考察し表現する。 ③今日の東南アジア・南アジア諸国においていかなる政治的・経済的变化が生じているのかを理解する。 ④冷戦終結後のアフリカが有する課題と可能性を考察し表現する。 ⑤冷戦終結後も続く地域・民族紛争の背景や経緯を理解する。 ⑥経済における世界の一体化の経緯を理解する。 ⑦21世紀初めにアメリカ合衆国がおこなった戦争の背景や経緯を理解する。 ⑧今日の国際関係の特徴と、協力の内容を考察し表現する。 ①20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を考察し表現する。 ②現代思想・文化における新しい潮流の内容を理解する。 ③両性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を理解する。	知：定期査査 思：定期査査 授業プリント類 課題(査査対策他) 主：単元小テスト 授業プリント類 課題(査査対策他)

令和6年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	日本史探究	履修学年	第3学年 (2年次より継続履修)
単位数	3単位	使用教材	教科書 山川出版社「日本史探究 詳説日本史」 副教材 第一学習社「最新 日本史図表」		
科目目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史との関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。				
履修上の注意点	・ 学習の基本は授業である。集中して取り組むこと。 ・ 予習・復習などを怠らない。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査・課題考査	○	○	○(課題考査)	
	小テスト			○	
	課題		○	○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目
一学期	第Ⅲ部 近世	第9章 幕藩体制の成立と展開 ②幕藩社会の構造 ③幕政の安定 ④経済の発展 ⑤元禄文化	4 4 4 5	○法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。 ○産業の発達、飢饉一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。 ○織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ○社会・経済の仕組みの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化との関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。	(知識・技能) 定期考査 (思考・判断・表現) 定期考査 課題・授業プリント類 (主体的に学習に取り組む態度) 小テスト 課題・授業プリント類
二学期	第Ⅳ部 近代・現代	第11章 近世から近代へ ①開国と幕末の動乱 ②幕府の滅亡と新政府の発足 第12章 近代国家の成立 ①明治維新と富国強兵 ②立憲国家の成立 第13章 近代国家の展開 ①日清・日露戦争と国際関係 ②第一次世界大戦と日本 ③ワシントン体制 第14章 近代の産業と生活 ①近代産業の発展 ②近代文化の発達 ③市民生活の変容と大衆文化 第15章 恐慌と第二次世界大戦 ①恐慌の時代 ②軍部の台頭 ③第二次世界大戦	4 5 4 5 4 4 5 4 5 5 4 5 5	○対外政策の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政権の成立などを基に、近世から近代への時代の転換を理解する。 ○欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の変容を多面的・多角的に考察し、表現する。 ○時代の転換に着目して、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観する問いを表現する。 ○近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付ける。 ○歴史資料の特性を踏まえ、資料から読み取れる情報から、近代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現する。 ○明治維新、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦、社会運動の動向、政党政治などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容を理解する。 ○文明開化の風潮、産業革命の展開、交通の整備と産業構造の変容、学問の発展や教育制度の拡充、社会問題の発生などを基に、産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成を理解する。 ○恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。	(知識・技能) 定期考査 (思考・判断・表現) 定期考査 課題・授業プリント類 (主体的に学習に取り組む態度) 小テスト 課題・授業プリント類
三学期		第16章 占領下の日本 ①占領と改革 ②冷戦の開始と講和 第17章 高度成長の時代 ①55年体制 ②経済復興から高度経済成長へ 第18章 激動する世界と日本 ①経済大国への道 ②冷戦の終結と日本社会の変容	2 2 2 2 2 2	○占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、平和条約と独立の回復、戦後の経済復興、アジア諸国との関係、高度経済成長、社会・経済・情報の国際化などを基に、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治や社会の枠組み、国民生活の変容を理解する。 ○アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ○欧米の思想・文化の影響、産業の発達の背景と影響、地域社会における労働や生活の変化、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ○国際社会やアジア近隣諸国との関係、政治・経済体制の変化、戦争の推移と国民生活への影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ○第二次世界大戦前後の政治や社会の類似と相違、冷戦の影響、グローバル化の進展の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の変容、戦後政治の展開、	(知識・技能) 定期考査 (思考・判断・表現) 定期考査 課題・授業プリント類 (主体的に学習に取り組む態度) 小テスト 課題・授業プリント類

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目
				日本経済の発展、第二次世界大戦後の国際社会における我が国の役割について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現する。 ○日本と世界の相互の関わり、地域社会の変化などに着目して、事象の意味や意義、関係性などを構造的に整理して多面的・多角的に考察し、我が国の近現代を通した歴史の画期を見だし、根拠を示して表現する。	

令和6年度 シラバス

教科名	保健体育	科目名	体育	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	現代高等保健・ステップアップ高校スポーツ 2022		
科目目標	① 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動し、公正・協力・責任などの態度を身に付ける。 ② 自己やグループの能力や運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫し、必要な技能や体力を高めるために運動の合理的な行い方を身に付ける。 ③ 選択した運動種目の技術やルールなどの理解を深める。 ④ 現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを設計し実践していく方法を身に付ける。				
履修上の注意点	① 領域に応じた服装で受講する。 ② 学習ノートの提出を行う。 ③ 運動制限等がある者は別の課題を行い評価を受ける。見学する際は見学届けを記入し、提出する。 ④ 球技については、3回の選択で同一種目を選択することはできない。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	主体性			○	
	協調性			○	
	技能テスト	○			
	ルールテスト	○	○		
	実技ノート		○	○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	A 体づくり運動	・新体力テスト	10	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解し、健康の保持増進や体力の向上を目指す。	知・技：新体力テスト得点
	H 体育理論	・豊かなスポーツライフの設計		・生涯スポーツの見方・考え方を理解し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。	実技ノート
	E 球技①	・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型 ・ターゲット型	20	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。	知・技：技能テスト・協調性
	F 武道	・柔道		・自主的に取り組み、作戦などについての話し合いに貢献することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。	思：ルールテスト・安全性 主：主体性・実技ノート
2	G ダンス	・現代的なリズムのダンス		・技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称、体力の高め方などを理解する。	
	から1種目選択			・基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。	
				・感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、踊りの特徴と表現の仕方を理解する	
3	E 球技②	・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型 ・ターゲット型	20	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。	知・技：技能テスト・協調性
	から1種目選択			・自主的に取り組み、作戦などについての話し合いに貢献することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。	思：ルールテスト・安全性 主：主体性・実技ノート
	E 球技③	・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型 ・ターゲット型	20	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。	知・技：技能テスト・協調性
	から1種目選択			・自主的に取り組み、作戦などについての話し合いに貢献することや一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にすることなどに意欲をもち、健康や安全を確保することができるようにする。	思：ルールテスト・安全性 主：主体性・実技ノート
3	H 体育理論	・ライフスタイルに応じたスポーツ		・身のまわりの人のスポーツライフを調べ、自分でスポーツライフを設計できるようにする。	

令和6年度 シラバス 英語コミュニケーションⅢ 文Ⅱ・子みらい

教科名	外国語（英語）	科目名	英語コミュニケーションⅢ	履修学年	第3学年
		単位数	4単位		
使用教材	教科書 数研出版　BIG DIPPER English Communication Ⅲ 副教材 数研出版　必携　英単語　LEAP 数研出版　BIG DIPPER　英語総合演習 数研出版　Front Runner 2 エスト出版　Best Collection 共通テスト対策問題集英語リスニング 15/30 模擬試験仕様 エスト出版　Best Collection 共通テスト対策問題集英語リーディング 40/80 模擬試験仕様				
科目目標	英語を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えをよりの確に理解したり、より適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 英語の音声的な特徴を踏まえた音読活動を重視して、コミュニケーションにおいて目的に応じた知識の活用がさらにできる。 (2) 状況に合わせて、与えられた情報の中から必要な情報を整理して、より適切な判断や表現をすることができる。 (3) ディスコースマーカー等の表現から、段落の大意を捉えて、論理展開に注意して、より様々な事象を多面的かつ多角的に分析して運用することができる。				
履修上の 注意点	コミュニケーション英語Ⅱで学習したことを土台として、授業に積極的に参加することが求められる。また、英語を音読することを中心に、自らの課題にじっくり取り組んで、これまでに身に付けた能力をさらに高めていくことを目指す。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	小テスト	○			
	パフォーマンステスト		○		
	英単語テスト			○	
	課題考査			○	
	Google Forms課題			○	
	振り返りシート			○	
	各観点の割合	30%	40%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	Lesson1 Lesson2	L1 Is the Meat Real or Fake? L2 Let' s Have a Healthy Workout	計 52	各 Lesson を題材に、長文読解対策および文法の学習を行う。パフォーマンステストは、各 Lesson の内容を題材に実施することを基本とする。	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：振り返りシート・小テスト・課題考査・Google Forms 課題・振り返りシート
2	Lesson3 ～ Lesson10	L3 My Opinion of Zoos L4 The History of Ekiben L5 Three Tips for Maintaining a Conversation L6 The History of Recorded Music L7 Online Word-of-Mouth L8 After the Flowers L9 Hot Springs at Home and Abroad L10 Kintsugi	計 52	各 Lesson を題材に、長文読解対策および文法の学習を行う。パフォーマンステストは、各 Lesson の内容を題材に実施することを基本とする。	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：振り返りシート・小テスト・課題考査・Google Forms 課題・振り返りシート
3	Lesson11	L11 Art on Display	計 36	各 Lesson を題材に、長文読解対策および文法の学習を行う。パフォーマンステストは、各 Lesson の内容を題材に実施することを基本とする。	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：振り返りシート・小テスト・Google Forms 課題・振り返りシート

令和6年度 シラバス 学校設定科目 論理表現Ⅲ

教科名	外国語（英語）	科目名	論理表現Ⅲ	履修学年	第3学年（文Ⅱ・子ども）
		単位数	3単位		
使用教材	New Favorite English Logic and Expression Ⅲ（東京書籍） 英語演習ノート Green 版（数研出版） Unite 英語総合問題集 2（数研出版）				
科目目標	さまざまなテーマについて情報や相手の意向等を英語で理解し、情報や自分の考えを英語で伝える能力を一層伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。				
履修上の 注意点	英語の学習は不断の努力によって前進する。よって、常に挑戦する心を忘れずに、積極的に課題に取り組むことが求められる。また、分からないことは教員に質問に行くことを習慣化することが大事である。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	小テスト（英語演習ノート）	○			
	パフォーマンステスト（リーディング）		○		
	課題取組（New Favorite English ワークブック）			○	
	課題取組（英語演習ノート）			○	
	各観点の割合	30%	40%	30%	

指導と評価の計画

学 期	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8 Lesson9 Lesson10	計 39	・食糧問題についてディスカッションする（議論・提案） ・メールで近況を伝える（気持ちを伝える） ・学校新聞でアドバイスする（助言） ・英語演習ノート L1～L5 の例文・説明文） ・宇宙についてスピーチする（主張・仮定） ・イベントなどを説明する（基本情報・詳細を ・理想の場所や時間を描写する（見た目の描写） ・英語演習ノート L1～L5 の例文・説明文）	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：単語テスト・課題
2	Unite 英語総合問題集 Lesson1 Lesson2 Lesson3 Lesson4 Lesson5 Lesson6 Lesson7 Lesson8 Lesson9 Lesson10 Lesson11 Lesson12	計 39	・助動詞（結婚式を挙げる場所） ・受動態（日本の包蔵水力について） ・不定詞・動名詞（手に埋め込んだマイクロチップ） 英語演習ノート L13～L18 の例文・説明文） ・不定詞・動名詞（クロマグロの保護） ・分詞・分詞構文（モートンリッジホテルへようこそ） ・準動詞（アボカドが環境に与える影響） ・英語演習ノート L19～L25 の例文・説明文） （パンクバーの移民） ・関係詞（留学プログラムについてのメール） ・関係詞（カップ麺の歴史） 英語演習ノート L19～L25 の例文・説明文）	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：単語テスト・課題
3	Lesson13 Lesson14	計 27	・仮定法（カフェのレビュー紹介） ・否定（E-waste とは） ・英語演習ノート L26～L27 の例文・説明文）	知：定期考査・小テスト 思：定期考査 主：単語テスト・課題

令和6年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	教養の世界史	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	副教材 帝国書院「最新世界史図説タペストリー」		
科目目標	世界・日本の歴史に関する知識を活用し、近現代の世界史を深める。近現代の世界史を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に興味・関心を持てるようにし、主体的に学習する力・課題に取り組む力を育成する。また、現代の社会に与えた影響に焦点を当て、第一次世界大戦以降の世界の歴史に対する理解を深める。グループディスカッション、個人的な研究を通じて、批判的思考能力を高めるとともに、歴史の知識を深め、グローバルな視野を持ち、現代世界の複雑な問題について考えるための基盤を築くことを目標とする。				
履修上の注意点	①授業への「参加」を必須とします。 ②資料集や配布プリントなどを授業に忘れず持参してください。 ③テスト以外に授業プリントやレポート等の提出を求めます。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	グループワーク		○	○	
	レポート		○	○	
	授業プリントの記録			○	
	各観点の割合	30%	40%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目
一学期		テーマ史① 「第一次世界大戦とロシア革命」	12	・バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ・史上初の世界大戦が勃発した原因を考察し表現する。 ・戦時外交および総力戦の特徴を理解する。 ・第一次世界大戦がもたらした影響を考察し表現する。 ・ロシア革命の経緯と歴史的意義を考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
		テーマ史② 「第一次世界大戦後の新国際秩序の構築」	10	・第一次世界大戦後の新国際秩序構築の経緯を理解する。 ・西欧における第一次世界大戦後の展開を考察し表現する。 ・国際協調を巡る1920年代の前半と後半の変化を理解する。 ・イタリア・ファシズム成立の背景を考察し表現する。 ・東欧・バルカン半島の新興国が直面した困難と、それに対応すべく築かれた体制を理解する。 ・1920年代のソ連とアメリカの国内情勢を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
		テーマ史③ 「アジア・アフリカ地域の民族運動」	10	・第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を考察し表現する。 ・日本の拡大に対する中国・朝鮮の対応を考察し表現する。 ・南京国民政府による中国統一達成までの経緯を理解する。 ・第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。 ・第一次世界大戦による西アジアの政治変化を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
二学期		テーマ史④ 「世界恐慌とヴェルサイユ体制の崩壊」	4	・世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。 ・ナチス＝ドイツの体制が成立する経緯とその政策内容を理解する。 ・ソ連の計画経済が資本主義諸国に与えた影響を理解する。 ・日本と中国が全面戦争へいたった背景を考察し表現する。 ・ファシズム諸国が国際政治に与えた影響を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
		テーマ史⑤ 「第二次世界大戦」	4	・開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を考察し表現する。 ・ヨーロッパにおける第二次世界大戦の展開を理解する。 ・独ソ戦および太平洋戦争の開戦が第二次世界大戦にもたらした影響を考察し表現する。 ・第二次世界大戦の終戦までの経緯を理解する。 ・第一次世界大戦と比較したうえで、第二次世界大戦の特徴を考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
		テーマ史⑥ 「第二次世界大戦後の新国際秩序の構築」	4	・戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 ・冷戦開始および東西ヨーロッパ分断の進展経緯について理解する。 ・国民党が共産党に敗れた原因を考察し表現する。 ・朝鮮戦争が東アジアの国際情勢に与えた影響を理解する。 ・東南アジア及び南アジアの独立の背景や経緯を理解する。 ・現代の中東問題の要因を考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
		テーマ史⑦ 「冷戦の始まり」	4	・米ソの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 ・冷戦進展がアメリカ社会に与えた影響を考察し表現する。 ・西欧と日本の経済復興の背景をそれぞれ理解する。 ・スターリン死後のソ連と東欧における変化を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
		テーマ史⑧ 「第三世界の台頭」	4	・自立化を追求するアジア・アフリカの新興諸国がいかなる行動をとったのかを理解する。 ・アフリカなどの新興国が直面した困難の内容とその原因を理解する。 ・キューバ革命の背景および影響を考察し表現する。 ・国際社会が核兵器の制限に取り組んだ経緯を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目
		テーマ史⑨ 「冷戦下の代理戦争」	4	・国際情勢との関係をふまえたうえで、米ソ代理戦争としてのベトナム戦争の性格を理解する。 ・1960年代におけるアメリカ合衆国とソ連のそれぞれの変容を考察し表現する。 ・ヨーロッパにおいて緊張緩和が進展した経緯を理解する。 ・ソ連のスターリン批判が中国へ与えた影響を理解する。 ・第三世界における開発独裁の特徴を考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
		テーマ史⑩ 「産業構造の変容」	4	・経済成長に伴う先進国の政策・社会の変化を理解する。 ・1970年代初頭に世界経済がいかなる転換を迎えたのかを理解する。 ・オイル＝ショックが各国の社会と経済に与えた影響を考察し表現する。 ・1960～70年代の中東における変容の経緯を理解する。 ・1970～80年代の開発途上国の工業化の経緯を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
		テーマ史⑪ 「冷戦の終結」	4	・旧社会主義国で起こった民族運動・対立の特徴を理解する。 ・冷戦終結後の東アジア諸国の変化を考察し表現する。 ・今日の東南アジア・南アジア諸国においていかなる政治的・経済的变化が生じているのかを理解する。 ・冷戦終結後のアフリカが有する課題と可能性を考察し表現する。 ・冷戦終結後も続く地域・民族紛争の背景や経緯を理解する。 ・経済における世界の一体化の経緯を理解する。 ・21世紀初めにアメリカ合衆国がおこなった戦争の背景や経緯を理解する。 ・今日の国際関係の特徴と、協力の内容を考察し表現する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録
三学期		テーマ史⑫ 「今日の世界」	6	①20世紀以降の科学技術の革新が人々の生活に与えた影響を考察し表現する。 ②現代思想・文化における新しい潮流の内容を理解する。 ③両性の同権化の進展について、その経緯と残されている課題を理解する。	知：定期考査 思：定期考査 グループワーク レポート 主：グループワーク レポート 授業の記録

令和6年度 シラバス

教科名	地理歴史	科目名	教養の日本史	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	教科書 山川出版社「日本史探究 詳説日本史」 副教材 第一学習社「最新 日本史図表」		
科目目標	日本の歴史を正しく学習し、集積した知識を活用して歴史的見識を高め、 国際社会に主体的に生きる日本人の教養を深めることを目標とする				
履修上の注意点	・学習の基本は授業である。集中して取り組むこと。 ・予習・復習などを怠らない。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査・課題考査	○	○	○(課題考査)	
	小テスト			○	
	課題		○	○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学期	指導項目	時数	指導内容	評価項目
一学期	①テーマ史「古代の政治・文化」	8	①古代の政治や文化をテーマとし、個人研究やグループディスカッション等を通じた主体的な取り組みによって理解を深める。	(知識・技能) 定期考査
	②テーマ史「中世の政治・外交・経済」	8	②中世の政治・外交・経済をテーマとし、個人研究やグループディスカッション等を通じた主体的な取り組みによって理解を深める。	(思考・判断・表現) 定期考査
	③テーマ史「中世の社会・文化」	8	③中世の社会や文化をテーマとし、個人研究やグループディスカッション等を通じた主体的な取り組みによって理解を深める。	課題・授業プリント類
	④テーマ史「織豊政権と江戸初期の政治・外交・文化」	8	④織豊政権や江戸初期の政治・外交・文化をテーマとし、個人研究やグループディスカッション等を通じた主体的な取り組みによって理解を深める。	(主体的に学習に取り組む態度) 小テスト 課題・授業プリント類
二学期	⑤テーマ史「江戸時代中期の政治・経済・文化」	8	⑤江戸時代中期の政治・経済・文化をテーマとし、個人研究やグループディスカッション等を通じた主体的な取り組みによって理解を深める。	(知識・技能) 定期考査
	⑥テーマ史「幕末から明治期の政治・外交・経済・文化」	8	⑥幕末から明治期の政治・外交・経済・文化をテーマとし、個人研究やグループディスカッション等を通じた主体的な取り組みによって理解を深める。	(思考・判断・表現) 定期考査
	⑦テーマ史「大正～昭和初期の政治・外交・文化」	8	⑦大正～昭和初期の政治・外交・文化をテーマとし、個人研究やグループディスカッション等を通じた主体的な取り組みによって理解を深める。	課題・授業プリント類
	⑧テーマ史「日中戦争～太平洋戦争期の政治や外交」	8	⑧日中戦争～太平洋戦争期の政治や外交をテーマとし、個人研究やグループディスカッション等を通じた主体的な取り組みによって理解を深める。	(主体的に学習に取り組む態度) 小テスト 課題・授業プリント類
三学期	⑨テーマ史「戦後の政治・外交・社会」	6	⑨戦後の政治・外交・社会をテーマとし、個人研究やグループディスカッション等を通じた主体的な取り組みによって理解を深める。	(知識・技能) 定期考査 (思考・判断・表現) 定期考査 課題・授業プリント類 (主体的に学習に取り組む態度) 小テスト 課題・授業プリント類

令和6年度 シラバス

教科名	理科	科目名	総合生物	履修学年	第3学年
単位数	3	使用教材	教科書：改訂版 生物基礎（東京書籍） 問題集：セミナー生物基礎		
科目目標	・看護・医療分野に携わる人材としての基本的な技能と態度を養う。 ・また、生物学における倫理観を理解するようにする。さらに、既存科目では学習しない内容や、生体の仕組みについて、生物学的に探究する力を養う。				
履修上の注意点	・持参物：教科書、ノート、問題集、タブレット ・配布プリントはノートに貼り、整理し管理すること。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	ワークシート (問題集)		○	○	
	実験レポート・ 探究活動		○	○	
	小テスト	○		○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	1編 生物の特徴／3編 ヒトの体の調節	1編 生物の特徴 1章 生物の多様性と共通性 3編 ヒトの体の調節 1章 体内環境と情報伝達 2章 免疫のはたらき	21	- 顕微鏡や微生物の実験を通して、生命・生物と細胞についての学びを深める。 - 病気の原因が外部的な要因だけでなく内部的な要因によるものを学ぶ。また、保健と関連付けて、医薬品が体内でどのように働くかを学習する。	知：定期考査 思：定期考査 実験レポート・探究活動 主：ワークシート(問題集) 実験レポート・探究活動
	2編 遺伝子とそのはたらき	1章 遺伝情報とDNA 2章 遺伝情報とタンパク質	21	- 遺伝情報やDNAについて復習し、遺伝子組み換えやゲノム編集などのバイオテクノロジーについて学ぶ。また、それらが農業や医療に応用されていることを学習する。 - バイオテクノロジーに関するニュースや文献を調べる。	知：定期考査 思：定期考査 実験レポート・探究活動 主：ワークシート(問題集) 実験レポート・探究活動
2	1編 生物の特徴	2章 生物とエネルギー	24	光合成や呼吸などの代謝と栄養素としての有機物に関連する実験を行い、生命活動とエネルギーについて復習する。	知：定期考査 思：定期考査 実験レポート・探究活動 主：ワークシート(問題集) 実験レポート・探究活動 小テスト
	4編 生物の多様性と生態系	2章 生態系と生物の多様性	21	- 健康と持続可能な環境づくりについて学ぶ。 1・2学期の学習を踏まえ、現代社会における健康や医療に関する課題とその解決策について探究する。	知：定期考査 思：定期考査 実験レポート・探究活動 主：ワークシート(問題集) 実験レポート・探究活動 小テスト
3			18	- 総合演習およびレポート - 学年末考査は実施しません	思：実験レポート・探究活動 主：ワークシート(問題集) 実験レポート・探究活動 小テスト

令和6年度 シラバス 学校設定科目 速読と表現

教科名	外国語（英語）	科目名	速読と表現	履修学年	第3学年
		単位数	3単位		
使用教材	自作プリント 数研出版 Viewpoint Advanced 英文読解の着眼点15 数研出版 フレーム英作文				
科目目標	さまざまなテーマについて情報や相手の意向等を英語で理解し、情報や自分の考えを英語で伝える能力を一層伸ばすとともに、この能力を活用して積極的にコミュニケーションを図ろうとするための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会的な話題について、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、段落構成や文脈または話題の展開を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2) より高度な文章から必要な情報を自ら整理して、自分の考えをまとめた上で、その場の状況に応じて適切なコミュニケーションを図ることができるようにする。 (3) 主体的、自律的に課題に対して、自らの学習を調整し、見通しをもって粘り強く取り組みを継続することができるようにする。				
履修上の注意	英語の学習は不断の努力によって前進する。よって、常に挑戦する心を忘れずに、積極的に課題に取り組むことが求められる。また、分からないことは教員に質問に行くことを習慣化することが大事である。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	小テスト	○			
	パフォーマンステスト		○		
	音読／課題取組	○	○	○	
	英単語テスト			○	
	振り返りシート			○	
	各観点の割合	30%	40%	30%	

学年末考査は実施しない。

指導と評価の計画

学期	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	- リーディング教材を用いて英語の文章を通して、主体的かつ自律的に情報を整理して判断する - ライティング教材を用いてイラストが示す状況を英語で表現し伝える	計 39	修飾語句（前置詞、形容詞、副詞、準動詞等）を用いて、イラストを見て描写する力や自分のことばで意見を述べる力を高める。	知：定期考査・小テスト・音読／課題取組 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：振り返りシート・小テスト・Google Forms 課題・振り返りシート
2	- リーディング教材を用いて英語の文章を通して、主体的かつ自律的に情報を整理して判断する - ライティング教材を用いてイラストが示す状況を英語で表現し伝える	計 39	図表やグラフを読み取って、その内容を描写する力や自分のことばで表現し伝える力を高める。	知：定期考査・小テスト・音読／課題取組 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：振り返りシート・小テスト・Google Forms 課題・振り返りシート
3	- リーディング教材を用いて英語の文章を通して、主体的かつ自律的に情報を整理して判断する - ライティング教材を用いてイラストが示す状況を英語で表現し伝える	計 27	自作プリントを用いて、1 年間の総復習を行う。	知：課題取組 思：音読 主：振り返りシート

令和6年度 シラバス

教科名	数学	科目名	数学 B	履修学年	3（文Ⅱ・子）
単位数	3	使用教材	高等学校 数学 B（数研出版） クリアー 数学 B（数研出版）		
科目目標	数列，統計的な推測について理解させ，基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学的に考察する能力を培い，数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。 ① 数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ② 離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 ③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
履修上の注意点	予習を行い授業に参加すること。 授業内で実施する小テストに意欲的に取り組むこと。 提出物は期限を守り提出すること。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	課題		○	○	
	アピールシート			○	
	小テスト	○		○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学 期	単 元	指導項目	時 間 数	指導内容	評価項目
1	第1章 数列	第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 第3節 漸化式と数学的帰納法 演習	1 5 1 5 1 0 5	数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。 和の記号 Σ の表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。	知：定期考査で知識の定着を確認する。 思：定期考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。
2	第2章	第1節 確率分布 第2節 統計的な推測 演習	2 5 1 5 5	確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。 母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。	知：定期考査で知識の定着を確認する。 思：定期考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。
3		数学Ⅰ・A・Bの復習	1 5	教科書レベルの問題から、入試レベル、発展的な問題を解けるようにする。	知：定期考査で知識の定着を確認する。 思：定期考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。

令和6年度 シラバス

教科名	体育	科目名	スポーツⅡ	履修学年	第3学年
単位数	3単位	使用教材	現代高等保健・ステップアップ高校スポーツ 2022		
科目目標	(1) 球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。 (2) 球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。				
履修上の注意点	① 領域に応じた服装で受講する。 ② 2時間連続の授業である。 ③ 各自がリーダーを経験し、有意義な授業を展開する。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	主体性			○	
	協調性			○	
	技能テスト	○			
	ルールテスト	○	○		
	実技レポート		○	○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	オリエンテーション 体力測定① 球技①	・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型から選択	26	・生涯スポーツの見方・考え方を理解し、生涯にわたる豊かなスポーツライフを主体的に実践できるようにする。 ・体育系大学や公務員試験に向けての実技対策について。 ゴール型： 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防を展開することができるようにする。	① ①②③
	体力測定② 球技②	・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型から選択	26	ネット型： 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開することができるようにする。 ベースボール型： 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい、状況に応じたボールやバットの操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開することができるようにする。	① ①②③
2	体力測定③ 球技③	・ターゲット型	26	・体育系大学や公務員試験に向けての実技対策について。 ターゲット型： 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを深く味わい用具や身体を使って、様々な状況に対応しながら、ボールを標的へ運ぶことができるようにする。	① ①②③
	球技④	・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型から選択	27		①②③
3					

令和6年度 シラバス

教科名		公 民	科目名	政治経済	履修学年	第3学年
単位数		3単位	使用教材	教科書 実教出版「最新政治・経済」 副教材 実教出版「最新政治・経済 演習ノート」 帝国書院「ライブ 2023 公共、現代社会を考える」		
科目目標		社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。				
履修上の注意点		①学習の基本は授業である。主体的に取り組むこと。 ②授業に必要な教科書・資料集・ノート類を忘れず持参すること。 ③課題やノート・レポート等の提出を怠らないこと。				
評価方法	学習活動		①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査		○	○		
	ワークシート・ノート			○	○	
	課題・レポート (小テスト含む)				○	
	班別協議・発表		○	○	○	
	各観点の割合		40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時数	指導内容	評価項目
一学期	第1部 現代日本の政治・経済	第1編 現代日本の政治 第1章 現代国家と民主政治	8	○ 政治と法の意義と機能, 基本的人権の保障と法の支配, 権利と義務との関係, 議会制民主主義, 地方自治について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知: 定期考査 思: 定期考査 ワーク・ノート 主: 課題 (小テスト含む)
		第2章 日本国憲法と基本的人権	8	○ 民主政治の本質を基に, 日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し, 表現させる。	
		第3章 日本の政治制度と政治参加	8		
		第2編 現代日本の経済 第1章 現代の経済社会	8	○ 経済活動と市場, 経済主体と経済循環, 国民経済の大きさと経済成長, 物価と景気変動, 財政の働きと仕組み及び租税などの意義, 金融の働きと仕組みについて, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知: 定期考査 思: 定期考査 ワーク・ノート 主: 課題 (小テスト含む)
		第2章 現代の日本経済と福祉の向上	8	○ 経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し, 表現させる。また、市場経済の機能と限界, 持続可能な財政及び租税の在り方, 金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現させる。	
		第3編 現代日本における諸問題の探究	8	○ 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化, 地域社会の自立と政府, 多様な働き方・生き方を可能にする社会, 産業構造の変化と起業, 歳入・歳出両面での財政健全化, 食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現, 防災と安全・安心な社会の実現などについて, 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察, 構想し, よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明, 論述させる。	知・思・主: 発表 主: 課題・レポート
二学期	第2部 現代の国際政治・経済	第1編 現代の国際政治 第1章 国際政治の動向と課題	17	○ 国際社会の変遷, 人権, 国家主権, 領土(領海, 領空を含む)などに関する国際法の意義, 国際連合をはじめとする国際機構の役割, 我が国の安全保障と防衛, 国際貢献について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	知: 定期考査 思: 定期考査 ワーク・ノート 主: 課題 (小テスト含む)
		第2編 現代の国際経済 第1章 国際経済理論	17	○ 貿易の現状と意義, 為替相場の変動, 国民経済と国際収支, 国際協調の必要性や国際経済機関の役割について, 現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。	
		第2章 国際経済の動向と課題	17	○ 国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に, 国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し, 表現させる。また、国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現させる。 ○ 相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し, 表現させる。また、国際経済において果たすことが求められる日本の役割について多面的・多角的に考察, 構想し, 表現させる。	知: 定期考査 思: 定期考査 ワーク・ノート 主: 課題 (小テスト含む)
三学期		第3編 国際社会における諸課題の探究	6	○ グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容, 地球環境と資源・エネルギー問題, 国際経済格差の是正と国際協力, イノベーションと成長市場, 人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組, 持続可能な国際社会づくりなどについて, 取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察, 構想し, よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明, 論述させる。	知・思・主: 発表 主: 課題・レポート

令和6年度 シラバス 学校設定科目 英語の探究

教科名	外国語（英語）	科目名	英語の探究	履修学年	第3学年
		単位数	2単位		
使用教材	自作プリント ラーンズ 共通テスト対策実力養成重要問題演習英語リーディング ラーンズ 共通テスト対策実力養成重要問題演習英語リスニング 数研出版 クローバー				
科目目標	さまざまなテーマの英語を読んだり聞いたりすることを通して、情報や相手の意向などを理解する能力をいっそう伸ばす。この能力を活用して、理解した情報を整理した上で、自分の意見を伝えながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。 (1) 社会的な話題について、文章の展開に注意しながら必要な情報を読み取り、段落構成や文脈または話題の展開を目的に応じて捉えることができるようにする。 (2) 英語で記述されているグラフや図表から必要な情報を読み取ることができるようにする。 (3) 基礎的な大学の講義を聞いて要点を理解したり、ノートにまとめたりできるようにする。				
履修上の注意	英語の学習は不断の努力によって前進する。よって、常に挑戦する心を忘れずに、積極的に課題に取り組むことが求められる。また、分からないことは教員に質問に行くことを習慣化することが大事である。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	小テスト（クローバー）	○			
	パフォーマンステスト（リスニング）		○		
	課題取組（リーディング予習）			○	
	英単語テスト			○	
	各観点の割合	30%	40%	30%	

学年末考査は実施しない。

指導と評価の計画

学 期	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	- リーディング教材を用いて英語の文章を通して、主体的かつ自律的に情報を整理して判断する - リスニング教材を用いて、英語で聞き取った状況を把握できるようにする。	計 26	自作プリントを用いて、4技能のすべての基礎になる語彙力を養う。 日常的にある SNS 上の連絡や、ネット上の広告などの要点を読み取れるようにする。 英語で話されている状況を理解し、それを英語で表現できるようにする。	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：単語テスト・課題
2	- リーディング教材を用いて英語の文章を通して、主体的かつ自律的に情報を整理して判断する - リスニング教材を用いて、英語で聞き取った状況を把握できるようにする。また、講義やディスカッションレベルの内容を把握できるようにする。	計 26	自作プリントを用いて、4技能のすべての基礎になる語彙力を養う。 図表やグラフを読み取って、その内容を描写する力や自分のことばで表現し伝える力を高める。 英語での講義を聞き、要点を英語でまとめたり、ディスカッションを聞いて各人の意見をまとめたりできる。	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：単語テスト・課題
3	- リーディング教材を用いて英語の文章を通して、主体的かつ自律的に情報を整理して判断する - リスニング教材を用いて、英語で聞き取った状況を把握できるようにする。また、講義やディスカッションレベルの内容を把握できるようにする。	計 18	自作プリントを用いて、4技能のすべての基礎になる語彙力を養う。 図表やグラフを読み取って、その内容を描写する力や自分のことばで表現し伝える力を高める。 英語での講義を聞き、要点を英語でまとめたり、ディスカッションを聞いて各人の意見をまとめたりできる。	知：定期考査・小テスト 思：定期考査・パフォーマンステスト 主：単語テスト・課題

令和6年度 シラバス

教科名		家庭	科目名	調理	履修学年	第3学年
単位数		2単位	使用教材	なし		
科目目標		家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、創造的に調理し、健康の保持増進に寄与する食生活の充実向上を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 調理の基礎、献立作成及び様式別調理などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (2) 食生活の現状から調理に関する課題を発見し、調理を通して食生活の充実向上を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 (3) 調理の面から食生活の充実向上を目指して自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
履修上の注意点		・調理実習等お昼休みの時間帯を使うことがあります。 ・実習にあたっては必ず決められたルールや指示に従って活動してください。				
評価方法	学習活動		①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	確認テスト		○	○		
	学習ノート			○	○	
	課題・レポート			○	○	
	実習記録			○	○	
	実習準備・取り組み				○	
	各観点の割合		40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学 期	単 元	指導項目	時 間 数	指導内容	評価項目
1	1.調理の 基礎	(1) 調理の目的	4	・調理の基礎について理解し、関連する技術を身に付ける。	ワークシート
		(2) 熱源及び調理機器	6	・調理における課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。	
		(3) 調理の種類と基本操作	6	・調理の基礎について自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む。	
		(4) 食品の性質	4		
		【調理実習】「基本的な調理」	2		実習記録・レポート
	2.献立作 成	(1) 献立作成の意義	4	・献立作成の意義について理解し、献立作成及び栄養計算ができるようになる。	ワークシート
		(2) 栄養計算	4		
		【調理実習】		・献立作成における課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。	実習記録・レポート
		「食品の性質を利用した調理」	2		確認テスト
		「地産地消を目指した調理」	2	・献立作成について自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む。	
2	3.様式別 の献立	(1) 日本料理	4	・日本料理、西洋料理、中国料理の正式な様式とマナーを知る。また、その他の諸外国の料理について知識を広げる。	ワークシート
		(2) 西洋料理	4		
		(3) 中国料理	4	・様式別の献立と調理の特徴を理解し、関連する技術を身に付ける。	
		(4) その他の料理	4	・様式別の献立を調理する際の課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。	実習記録
		【調理実習】「日本料理と外国の料理」	2	・様式別の献立と調理について自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む。	
	4.目的別 ・対象別 の献立	(1) 行事食・郷土料理	6	・外部講師による講義「和菓子について」(予定)	実習記録・レポート
		(2) 病気時の食事	2		
		(3) 幼児と高齢者の食事	2	・行事食、郷土料理についての理解を深める。	ワークシート
		【調理実習】「行事食」	2	・目的別・対象別の献立と調理の特徴を理解し、関連する技術を身に付ける。	
		「幼児と高齢者の食事」	2	・目的別・対象別の献立を調理する際の課題を発見し、その解決に向けて考察し、工夫する。	実習記録・レポート
			2	・目的別・対象別の献立と調理について自ら学び、創造的な調理に主体的かつ協働的に取り組む。	確認テスト
3	5.食育	家庭や地域における食育推進活動	4	・食育を推進することの重要性を理解し、家庭や学校及び地域で食育推進活動を推進するための関連する技術を身に付ける。	ワークシート

教科名	情報	科目名	情報の探究	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材			
科目目標	情報Ⅰで身につけた基本的な知識をもとに、データ分析、モデル化とシミュレーションの社会とのつながりに注目し、社会で通用する知識・技能を身につける。また、身につけた知識・技能をもとに探究学習を行い、主体的に考えて課題設定する力、課題解決に必要な情報収集力、情報を整理・分析して答えを作る力、成果をまとめ、発表することで対話的に学ぶ力を身につける。				
履修上の注意点	・プリント授業とコンピュータを利用した実習授業を行います。 実習授業の回に欠席すると、実習点がつきません。とにかく出席し、実習に取り組む				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○			
	ワークシート			○	
	実習課題		○	○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学 期	単 元	指導項目	時 間 数	指導内容	評価項目
1 学 期	データ分 析	データ分析と社会	(15)	身近なデータを分析し、データ分析が社会に与える影響について理解する。 (全員) データ収集・分析・考察の流れを全員で取組む。 ・学校の食堂のデータを分析する。 食堂利用者を増やし、食堂の売り上げを上げるために必要なことをデータから読み取る。 (グループ) 共通の興味関心を持つグループを作り、グループでテーマを設定し、データ収集・分析・考察についてグループで取り組む。 グループ発表→相互評価→改善・修正	知：定期考査 思：実習 主：ワークシート 振り返りシート
		(探究) データ分析と社会	(16)	探究学習(個人) 自分の進路につながるテーマを設定し、データ収集・分析・考察について個人で取り組む 個人発表→相互評価→改善修正	知：定期考査 思：実習 主：ワークシート 振り返りシート
2 学 期	モデル化 とシミュ レーショ ン	モデル化とシミュレーションと社会	(21)	身近な事象をモデル化→シミュレーションし、モデル化とシミュレーションが社会に与える影響について理解する。 (全員) モデル化・シミュレーション・考察の流れを全員で取組む。 ・学校の歯科検診についてシミュレーションし、考察する。 歯科医の人数と待ち時間について考察する。 (グループ) 共通の興味関心を持つグループを作り、グループでテーマを設定し、モデル化・シミュレーション・考察についてグループで取り組む。」 グループ発表→相互評価→改善・修正	知：定期考査 思：実習 主：ワークシート 振り返りシート
3 学 期		(探究) モデル化とシミュレーションと社会	(18)	探究学習(個人) 自分の進路につながるテーマを設定し、モデル化・シミュレーション・考察について個人で取り組む。 個人発表→相互評価→改善修正	知：定期考査 思：実習 主：ワークシート 振り返りシート

令和6年度 シラバス

教科名		教 育		科目名	教育の探究	履修学年	第3学年
単位数		2単位		使用教材			
科目目標		教育の観点から「探究」の見方・考え方を働かせ、体験的な活動を行うことを通して、自分のあり方や生き方を考えながら、よりよく課題を発見・解決していくための“資質・能力”の育成を目指す。また、教育現場でのコミュニケーションスキル、子どもの発達心理、教材開発、授業実践について学ぶ。					
履修上の注意点		① 学習の基本は授業である。主体的に取り組むこと（日々振り返りを提出）。 ② 班別協議や成果物（教材・教具など）の制作に関しては協力して取り組むこと。 ③ 資料や文献の検索や情報の分析等にはしっかりと取り組むこと。					
学期	時期	学習活動			学習内容		
一学期	中間	○教育の探究概説 ○講座企画Ⅰ～Ⅲ			○年間計画の確認・教材綴り, 実習園希望調査など ○講座企画 ① 各講座の目標・計画 ② 企画の立案・分析 ③ 計画書の提出		
	期末	○幼稚園・保育園実習① ○小学校実習① ○講座準備			○提携幼稚園・保育園・小学校での教育現場体験 ○講座の教材教具作成 ○講座発表のリハーサル		
[夏季休業] 夏休み講座発表会(8月下旬予定)							
他 オープン・ハイスクール:8/1(木)・2(金), 教育体験(希望者:学校設定科目)							
二学期	中間	○講座・教育体験報告会 ○小論文講座 ○幼稚園・保育園実習②			○講座報告書の作成 ○提携幼稚園・保育園での教育現場体験		
	期末	○小学校実習② ○卒業研究に向けて			○小学校での教育現場体験 ○講座探究活動のまとめ		
三学期	学年末	○卒業研究発表			○卒業研究の成果の発表		
評価方法	学習活動		①知識・技能		②思考・判断・表現		③主体的に学習に取り組む態度
	日々振り返り (振り返り帳の作成)						○
	提出物 (振り返り帳・ノート・記録等)						○
	講座計画書・実習の記録		○		○		○
	創作活動(教材・教具等)		○		○		
	卒業研究		○		○		
	各観点の割合		30%		40%		30%

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
一学期	ガイダンス	●年間予定確認、教材綴り ●講座希望調査 他 ●次回授業への導入	28 (2)	○「教育の探究」を意識させ、一年間の取組みについて理解させる。	主:「ふりかえり帳」
	講座企画①～③	●各講座の目標・計画 ●企画の立案・分析 ●計画書の提出	(6) (4)	○教育現場体験(幼稚園・保育園実習)に向けて、スキルアップを目指す。 ○幼稚園・保育園実習を経験した中で、専門的な観点からさらなる理解を深める。	知:講座計画書 思:講座計画書 主:「ふりかえり帳」
	教育現場体験	●幼稚園・保育園実習① 「乳幼児を知る(園児と積極的に関わる)」	(4) (4)	○実習を行うにあたって、配属クラスの園児の行動などを観察させる。 ○乳幼児とのコミュニケーションの方法や留意点について学ばせる。	知:実習の記録 思:実習の記録 主:「ふりかえり帳」
	講座発表に向けて	●講座の教材教具作成	(8)	○講座発表に向けて、実習で体験したことを踏まえながら作成させる。	
二学期	報告会	●講座・インターンシップ 等報告会	30 (6)	○学校設定科目「教育体験」で評価する。 ○講座報告書を作成し、分析・評価を行う。	
	小論文講座	●進路実現に向けて	(8)	○進路選択についての意識を持たせるとともに、自分自身の将来像を描きながら、「自己分析」「志望理由書の書き方(導入)」「職業観」などについて学ばせる。	知:小論文ノート 思:小論文ノート 主:「ふりかえり帳」
	現場体験	●幼稚園・保育園実習 「保育園・幼稚園での保育活動について学ぶ」 ●小学校実習	(8)	○実習先の園の特長(優れた点)や保育・教育のための手法や技術を学ばせる。 ○発達段階を考慮した保育環境(環境整備など)について学ばせる。	知:実習の記録 思:実習の記録 主:「ふりかえり帳」
	卒業研究	●卒業研究教材・教具づくり	(8)	○卒業研究に向けて教材・教具を完成させ、卒業研究に臨ませる。	知:教材・教具 思:教材・教具 主:「ふりかえり帳」
三学期	卒業研究発表	●卒業研究発表会	12 (12)	○卒業研究の発表の場として意識させ、これまでの成果を発表させる。	

令和6年度 シラバス

教科名	国語	科目名	言語表現の探究	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	各種辞書 新聞記事、小説・随想等 プリントほか		
科目目標	生活に即応した言語表現について、様々な状況に対応した表現ができることを目指す。 (1) 言葉や表現が持つ意味について深く理解する。 (2) 状況に応じた表現を適切に選択し、使えるようにする。 (3) 要求や課題について、自分の考えを適切に表現できるようにする。 (4) 自分の考えや他者の考えを伝え合うことを通して、考えや表現を広げたり深めたりすることができるようにする。				
履修上の注意点	授業：適切に表現する力の発達を目指す。 提出物（作品）・小テスト等：主体的に学びに向かう態度の育成を目指す。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	小テスト			○	
	提出物（作品）等	○	○	○	
	各観点の割合	30%	40%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	表現Ⅰ	再話 「焼かれた魚」 小熊英雄	26 (5)	言葉や表現について理解する。 ・再話を通して、言葉や表現について体験的に知識を蓄積する。 (辞書の使い方、ペアワーク)	知：定期考査 提出物等 思：定期考査 提出物等 主：小テスト 提出物等
		聞き書き	(9)	適切な表現を選択する。 ・身近な人の体験を聞き、作文にすることを通して、適切な表現を学ぶ。 (ペアワーク、発表会)	
		未来予想図	(11)	・自分の将来の一齣を創作的作文にする。 (ペアワーク、発表会)	
		定期考査	(1)	表現の基礎について	
②	表現Ⅱ	志望動機	32 (12)	与えられた課題について、自分の考えを適切に表現できるようにする。 ・希望する進路に即した志望動機について作文する。(ペアワーク、発表会)	知：定期考査 提出物等 思：定期考査 提出物等 主：小テスト 提出物等
		小論文	(17)	課題文を読んで、自分の考えを論理的に表現できるようにする。 ・課題文の展開と資料の関係について多角的に考え、論点や主張に関わる自分の考えを論理的に表現する。	
		小論文批評会	(3)	・相互に小論文について批評しあうことを通して、適切な表現について考えを深める。	
3	表現Ⅲ	卒業制作 小説の続編の創作 スピンオフの創作	12 (4) (4)	自分を見つめ、考え、発信する。 ・作品を創作することを通して、人間、社会(環境、自然)、人生(愛、生き方)について考えを深め、表現する。	知：定期考査 提出物等 思：定期考査 提出物等 主：小テスト 提出物等
		発表会	(4)		

令和6年度 シラバス

教科名	数学	科目名	数学C	履修学年	3（文Ⅱ・子）
単位数	2	使用教材	高等学校 数学C（数研出版） クリアー 数学C（数研出版）		
科目目標	ベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。 ① ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 ② 大きさと向きをもった量に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 ③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
履修上の注意点	予習を行い授業に参加すること。 授業内で実施する小テストに意欲的に取り組むこと。 提出物は期限を守り提出すること。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	課題		○	○	
	アピールシート			○	
	小テスト	○		○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学 期	単元	指導項目	時 間 数	指導内容	評価項目
1	第1章 平面上の ベクトル	第1節 ベクトルとその演算 第2節 ベクトルと平面図形	1 5 1 0	向きと大きさをもつ量としてのベクトルの意味およびその演算について理解し、成分表示も含めてベクトルの演算ができるようにする。また、ベクトルの内積について理解し、平面上のベクトルのなす角について考察できるようにする。 位置ベクトルについて理解し、位置ベクトルを図形の性質を調べるのに活用できるようにする。また、図形をベクトルを用いて表せることを理解し、基本的な図形のベクトル方程式を求めたり、ベクトル方程式が表す図形を求めたりできるようにする。	知：定期考査で知識の定着を確認する。 思：定期考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。
2	第2章 空間のベ クトル	演習 数学Ⅰ・A・Bの復習	1 5 5 2 0	平面上のベクトルの拡張として空間のベクトルを捉え、空間図形の性質の考察などに活用できるようにする。また、それに関連して、座標空間における点や図形について考察できるようにする。 教科書レベルの問題から、入試レベル、発展的な問題を解けるようにする。	知：定期考査で知識の定着を確認する。 思：定期考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。
3		数学Ⅰ・A・Bの復習	5	教科書レベルの問題から、入試レベル、発展的な問題を解けるようにする。	知：定期考査で知識の定着を確認する。 思：定期考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。

令和6年度 シラバス

教科名	芸術	科目名	教育音楽	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	大学ピアノ教本（教育芸術社） Music Note 基礎から学ぶ高校音楽（啓隆社）		
科目目標	・読譜力、和声、聴音を身につけ、鍵盤楽器の演奏技術高めると共に、個性豊かな表現能力を伸ばす ・読譜力、正確な音程を体得し、腹式呼吸法、ベルカント唱法を学んで、豊かな表現力を身につける				
履修上の注意点	・ピアノの練習を自主的に行うこと（ピアノ課題は各自のレベルに準ずる） ・音楽表現をするための技術を積極的に学ぶこと ・提出物は必ず期限内に提出すること				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	授業態度			○	
	鑑賞ノート			○	
	実技	○	○	○	
	楽典テスト	○	○		
	提出物			○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学 期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1		<歌唱>コールユーブンゲン ふるさと、朧月夜 <器楽>コードネーム リトミック	4時間 6時間 5時間	日本歌曲の表現を学ぶ コードネームを理解し、伴奏付けを学ぶ 幼児教育を学ぶ	③ ② ①、②、 ② ③
		<歌唱>コールユーブンゲン starvicino <器楽>聴音 リトミック	4時間 6時間 5時間	イタリア歌曲の表現を学ぶ 記譜法を学ぶ 幼児教育を学ぶ	① ② ①、②、 ② ③
2		<歌唱>コンコーネ Lascia ch' io pianga <器楽>童謡弾き歌い 楽典	4時間 6時間 5時間	イタリア歌曲の表現を学ぶ 弾き歌いの演奏技術を学ぶ 音楽理論を学ぶ	①、②、 ① ② ① ③
		<歌唱>コンコーネ 合唱 <器楽>合奏 コンサート	4時間 6時間 5時間	合唱技術を学ぶ 合奏技術を学ぶ 演奏技術を学ぶを学ぶ	①、② ①、② ① ② ③
3		ソロコンサート	10時間	コンサートマナーを学ぶ	①、②、③

令和6年度 シラバス

教科名	美術（専）	科目名	素描	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	各種描画画材		
科目目標	・造形の基礎である「視ること」「描くこと」に焦点を当てて作品を制作する。				
履修上の注意点	・制作が中心になります。各単元の最後には、合評会を行います。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	授業態度	○	○	○	
	作品	○	○	○	
	鑑賞			○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	透視図法	「2点透視」 「3点透視」	7 9	・基本的な透視図法を学び、空間について理解を深める。	①、②、③
	静物デッサン	「幾何形態」	10	・基本的な画面の構成、形態の把握、質感を表現する。	①、②、③
2	風景写生	「風景」	13	・季節の変化を観察しながら、自然の美しさを発見する。 ・空間的な表現を、制作を通して学習する。	①、②、③
	自由制作	「自由制作」	13	・計画的な制作を行う。 ・自由にテーマや表現方法を考え制作する。	①、②、③
3	自由制作	「自由制作」	18	・計画的な制作を行う。 ・自由にテーマや表現方法を考え制作する。	①、②、③

令和6年度 シラバス

教科名	国語	科目名	現代文の探究	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	『LT 現代文3』 浜島書店 『国語必携パーフェクト演習 三訂版』 尚文出版		
科目目標	文章を的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 様々なジャンルの長文の読解力や要約力を高める。 (2) 論理国語、文学国語で習得した読解力や思考力を基に、評論文や文学的な文章等の様々な文章を正確に理解し、文章の主張に対して批判的（多角的、多面的）に思考することで現代の諸問題を探究する力を育成する。 (3) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、考える力を養う。 (4) 伝え合うことを通して、考えを広げたり深めたりすることができるようにする。				
履修上の注意点	授業：論理的な文章を読解することで実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、国語に関する知識・技能の定着を目指す。また、自己の考えたことを作文等に表現することで論理的に思考・判断し表現する力の発達を目指す。 提出物・小テスト等：主体的に学びに向かう態度の育成を目指す。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	小テスト			○	
	提出物等			○	
	課題考査	○	○		
	各観点の割合	30%	40%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	『LT 現代文3』 問題1～10 『パーフェクト演習』 基礎編	「学びとは何か」 「デジタルは人間を奪うのか」 「ヒトなぜヒトになったのか」 「考えるヒト」 『闘』 『山女日記』 『花を旅する』 小論文の作成	26 (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (5)	評論文の主張を正確に理解する。 ・近代及び現代の評論文を教材として取り上げ、筆者の主張を正確に理解する。 小説の主題を正確に理解する。 ・近代及び現代の小説を教材として取り上げ、場面を丁寧にたどりながら登場人物の心情の推移を理解する。 筆者の主張と根拠の関係について整理することで理解を深め、筆者の主張に対して小論文を書く。	知：定期考査 課題考査 思：定期考査 課題考査 主：小テスト 小論文
2	『LT 現代文3』 問題11～22 『パーフェクト演習』 発展編	『明暗』 『阿部一族』 「日本のレトリック」 「日本のデザイン」 「自己創出する生命」 意見文の作成	32 (5) (5) (4) (4) (4) (10)	小説の表現を考察する。 ・情景の表現と登場人物の心情の細かな推移の関係を考察することで作品の持つ特質について深く理解する。 評論文の内容を考察する。 ・内容や構成、論理の展開と資料の関係や妥当性について多角的に考え、論点や主張について正確に理解する。 ・情景の表現と登場人物の心情の推移の関係を様々な角度から考え、登場人物の生き方について意見文を作成し発表する。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 意見文
3	『LT 現代文3』 問題23～27 『パーフェクト演習』 実践編	「近代美術における伝統と創造」 「音楽の聴き方」 「天才と国防」	12 (4) (4) (4)	自分を見つめ、考え、発信する。 現代社会の様々な諸問題について書かれた評論文を読み、自分の主張を論述する。	知：定期考査 思：定期考査 主：小テスト 小論文

令和6年度 シラバス

教科名	数学	科目名	数学の探究	履修学年	3
単位数	2	使用教材	REPEAT 数学Ⅰ+A ランダム演習数学Ⅰ+A 標準編 数学Ⅰ+A プレノート Half		
科目目標	数学Ⅰおよび数学Aの発展的内容や、科目を横断した内容の教材を扱うことで、内容の理解をより深め、さらに複数の分野にまたがる事項を考察することで、数学の面白さや数学的な考え方のよさを理解する。 ① 基本的な計算力を養い、数学的に表現や処理する技能を身に付けるようにする。 ② 事象を数学的に考察し表現したり、思考を振り返り多面的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を養う。 ③ 数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学的な考え方のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする態度を養う。				
履修上の注意点	予習を行い授業に参加すること。 授業内で実施する小テストに意欲的に取り組むこと。 提出物は期限を守り提出すること。				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	定期考査	○	○		
	課題・探究活動		○	○	
	課題			○	
	小テスト	○		○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学 期	単元	指導項目	時 間 数	指導内容	評価項目
1	数学 I 第 1 章 ～第 5 章	数と式 集合と命題 2 次関数 図形と計量 データの分析	5 5 5 5 5	基礎的な事柄の再確認を行う	知：定期考査で知識の定着を確認する。 思：定期考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。
2	数学 A 第 1 章 ～第 3 章	場合の数と確率 図形の性質 数学と人間の活動（約数と公倍数、整数のいろいろな問題、ユークリッドの互除法、一次不定式、記数法、座標の考え方等）	1 0 1 0 1 0	基礎的な事柄の再確認および、科目にまたがる融合問題の学習を行う。	知：定期考査で知識の定着を確認する。 思：定期考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。
3	総合	複合問題	1 5	科目にまたがる融合問題の学習を行う。	知：定期考査で知識の定着を確認する。 思：定期考査や探究活動を通して習った内容を利用し論理的に考察できているか確認する。 主：課題の取り組み状況や課題からの小テストで、数学を活用する態度を評価する。

令和6年度 シラバス

教科名		家庭	科目名	保育基礎	履修学年	第3学年
単位数		2単位	使用教材	教科書：「保育基礎」（実教出版） 副教材：「保育基礎 学習ノート」（実教出版）		
科目目標		家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （1）保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 （2）子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 （3）子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
履修上の注意点		・座学だけでなく、制作や表現等の実技もあります。どの分野も苦手意識を持たず、一緒に楽しみながら取り組みましょう。				
評価方法	学習活動		①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	確認テスト		○	○		
	学習ノート			○	○	
	課題・レポート			○	○	
	取り組み				○	
	各観点の割合		40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	1. 子どもの保育	①保育の意義	4	・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い、保育が人間形成にどのようにかわるかを考える。	学習ノート 講義レポート
		②保育の方法	4	・保育者にはどのような資質が求められるか、またそれを身につけるにはどのようにしたらよいかなど、保育者観についての考察を深める。	
		③保育の環境	4	・家庭での保育の現状や、幼児教育・保育の場（幼稚園や保育所、認定こども園など）の保育環境の特徴や役割を理解する。 ・子どもを取り巻く社会環境の変化や今後の保育の課題について理解し、子どもの健やかな発達のために適切な保育環境について考察する。	
	2. 子どもの発達	①子どもの発達の特性	6	・乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個性性といった特性があることを理解する。	学習ノート 作品 確認テスト
		②子どものからだの発達	6	・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。	
		③子どもの心の発達	6	・心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程について学び、親子関係の形成と人間関係のひろがりについて考える。 ・知的発達、言葉の発達、社会性・情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる。	
2	3. 子どもの生活	①子どもの生活と養護	6	・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ・乳幼児期の栄養や食事(乳汁栄養や離乳食、幼児食など)の特徴を実習を通して理解する。 ・子どもの衣生活と育児用品について、身体特徴をふまえ、安全で快適に生活するために何が必要か選択できる。	学習ノート
		②生活習慣の形成	4	・基本的生活習慣と社会的生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。	
		③健康管理と事故防止	4	・子どもの健康管理や事故防止について、健康状態の観察のポイントや予防接種、事故の実態や原因などを理解する。 ・子どもの事故防止や安全な環境整備にはどのような配慮や準備が必要か具体的事例とあわせて理解する。	
	4. 子どもの文化	①子どもの文化の意義と支える場	6	・絵本や遊び、歌などの児童文化財や児童館などの子どもの文化を支える場が、子どもの健やかな発達とどのような関わりを持つか、その意義について理解する。	学習ノート 講義レポート 作品
		②子どもの遊びと表現方法	6	・子どもの遊びと遊具や表現活動の意義や重要性などを、具体的に遊具等を作るなどの活動を通じて理解する。 ・遊びにおける保育者からの働きかけを考え、遊びの援助ができるようにする。	
	5. 子どもの福祉	①子ども観	4	・子ども観は国や地域、時代によって変化していることを理解する。 ・時代の変化と共に子どもが権利の主体として尊重する考え方が世界で共有されつつあることを理解する。	学習ノート 確認テスト
		②子どもの福祉	4	・子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。 ・児童憲章や児童の権利に関する条約を通して児童福祉の基本的な考え方を理解し、子どもの幸せとは何かを考える。	
3		③子育て支援	6	・子どもを地域や社会で支える子育て支援の具体的な場や制度について理解する。また、子育て支援の今後の課題と展望について考察する。	学習ノート 作品

令和6年度 シラバス

教科名	芸術	科目名	実用の書	履修学年	第3学年
単位数	2単位	使用教材	応用ペン習字（教育図書）		
科目目標	・書写能力の向上と、暮らしを豊かにする自己表現能力を養い、書を生活に活かす態度を養う				
履修上の注意点	・常に意識を持ち、無意味な反復練習で終わらせないこと。 ・用具・用材類の取り扱い方 注意				
評価方法	学習活動	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度	
	作品	○	○		
	提出物	○	○	○	
	小テスト	○	○		
	授業態度			○	
	用具の取り扱い			○	
	各観点の割合	40%	30%	30%	

指導と評価の計画

学 期	単元	指導項目	時間数	指導内容	評価項目
1	漢字編（楷書）	均整のとれた文字の学習①	3 3 4 5	古典の臨書から基本形を学ぶ （毛筆） 教材プリントから基本形を学ぶ （毛筆・硬筆）	1 1 2 3 3 1 2 3
		均整のとれた文字の展開②	3 5 5	検定2級程度の学習、漢詩・和歌・はがき テキストからの学習、漢字・漢字仮名交じり文を書く （毛筆・硬筆）	1 2 3 1 2 3 1 2 3
2	漢字編（行書）	均整のとれた文字の展開①	3 5 5	テキストからの学習、漢字・漢字仮名交じり文を書く テキストからの学習、生活の中の書 封筒・手紙・履歴書など （毛筆・硬筆）	1 2 3 1 2 3 1 2 3
		均整のとれた文字の学習②	6 3 4 3	テキストからの学習 文化・伝統の中の書 慶弔用語・年賀状など 掲示を書く	1 2 3 1 1 2 3
3	制作	実用文字を生活の中に活かす工夫	6 7	（毛筆又は硬筆） 漢字の書・漢字仮名交じりの書による作品制作	1 2 3